



確かな学力と学ぶ意欲の向上を目指して

～全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて～

研究部

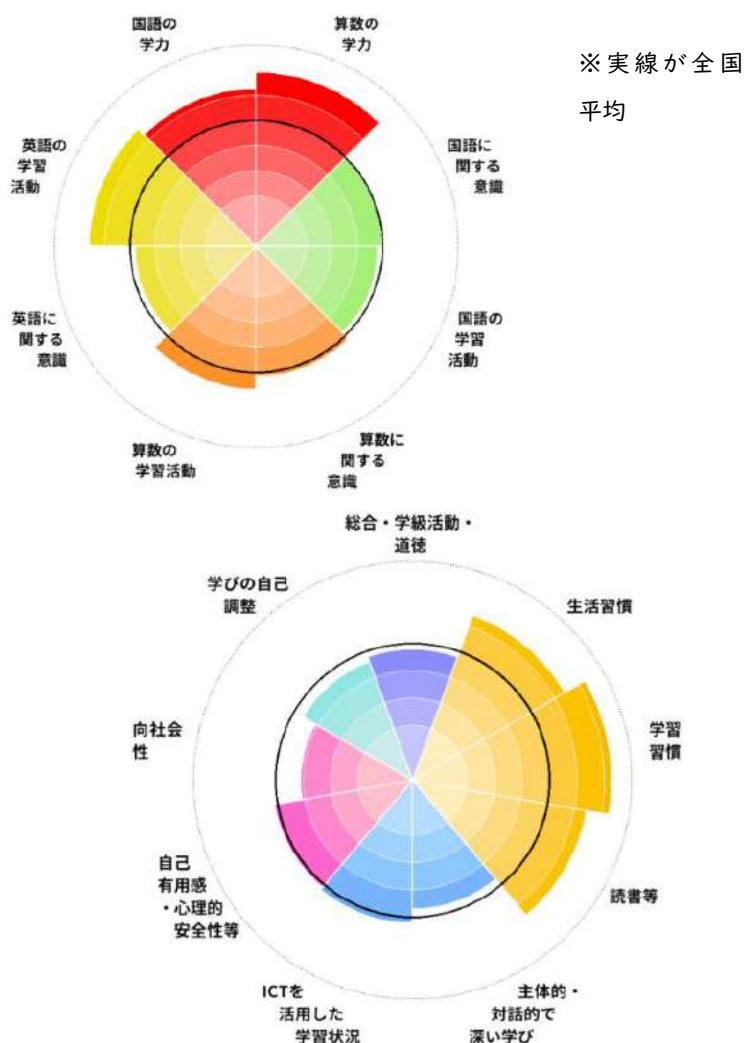
今年度、本校では『主体的に学び、自分なりの学び方で学習を深める子』～個別最適な学びを通して～をテーマに校内研究をすすめています。急速に変化する社会の中で、新たな環境や未知の課題に直面したときに、自ら考え、問いをもち、必要な知識を活用しながら解決への道筋を探っていく力が重要と考えております。こうした力を育むために、従来の知識重視の学習から探究する学習へと授業改善に取り組んできました。本校が大切にしたいのは、「確かな学力」と「学びたいという意欲」の両立です。一人ひとりの児童が学習内容を確実に身に付け、「分かった」「できた」という達成感を得る。そして、その達成感が「なぜだろう」「もっと知りたい」「もっと挑戦してみたい」という次の学びへの原動力になる。そのような学びの好循環を生み出す授業づくりをめざして授業改善を進めております。

下のデータは「令和8年度全国学力・学習状況調査」の松庵小学校の結果です。これは毎年、中学校3年生、小学校6年生を対象に実施されている国の調査です。今年度は国語・算数の調査が行われました。

【学力調査の結果】

国語	平均正答数 (問)	平均正答率 (%)
本校	9.2 / 13	70
東京都(公立)	8.4 / 13	65
全国(公立)	7.9 / 13	60.9
算数	平均正答数 (問)	平均正答率 (%)
本校	11.6 / 16	73
東京都(公立)	10.1 / 16	63
全国(公立)	9.0 / 16	56.4

【全国学力・学習状況調査チャート】



国語・算数ともに東京都及び全国の平均を上回る結果となりました。国語においては、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の正答率が高く、「話すこと・聞くこと」や「読むこと」に関する設問でも平均を大きく上回る結果となりました。これは、日常的な読書習慣の定着や、対話的な学習活動を継続してきた成果であると考えられます。算数においても、「知識・技能」の観点で大きく上回る結果となりました。特に、「数と計算」に関する問題の正答率は 78.4%と高く、基礎的な計算技能が着実に定着していることがうかがえます。こうした基礎・基本の確実な習得が、全体的な学力の向上につながっていると考えられます。

一方で、課題も明らかになりました。両教科も、選択式問題では高い正答率を示したものの、記述式問題では、正答率が低く、特に国語では 57.9%となりました。自分の考えを、どのように表現するか。相手に分かりやすく伝えるか。これに関しては、2 学期以降の課題として、改善に努めていきます。

学力調査と同時に実施された学習状況調査では、「国語や算数の勉強が好き」「得意」と肯定的に回答した児童の割合は、東京都や全国の平均を上回りました。「授業内容がよく分かる」と回答した児童も 8 割を超えており、多くの児童が学習内容を理解しながら学んでいることが分かります。一方で、「苦手」「嫌い」と回答した児童の割合も一定数見られ、学習に対する意識には個人差があることがうかがえます。学習への興味・関心や将来の夢や目標、社会性に関する意識についてはさらなる向上が望まれます。そこで、2 学期以降は、総合的な学習の時間に行うキャリア教育等を通して、「働くこと」や「自己の生き方」について深く考える機会を設けていきます。

今後も、児童一人ひとりが主体的に学び、確かな学力を身に付けるとともに、学ぶことの楽しさや意義を実感できるよう、教育活動の充実に努めてまいります。